

令和6年度学校評価に係るアンケート集計(教職員)

資料1

項目ごとに評価欄に○をつけてください。

(4:十分である 3:おおむね十分である 2:不十分である 1:改善を要する)

領域	対 象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	評価欄				評価指数	昨年度の 同様の観点 による評価 指数	増減	
					4	3	2	1				
教育活動	学習指導	基礎・基本の定着と意欲的・主体的に取り組む学習態度の育成	①生徒の学習意欲の向上と学習習慣の定着を図る指導方法を工夫する。 ②主体的・対話的で深い学びを生み出す授業改善と指導方法の工夫 ③学習評価の工夫・改善	1 個に応じたきめ細かな学習指導が進められたか	6	6	1	0	3.38	3.23	↑	0.15
				2 基礎基本の定着を図る取組が十分なされたか(授業研究、教材開発など)	6	7	0	0	3.46	3.23	↑	0.23
				3 生徒の適性や能力を把握した学習指導がなされたか	6	6	1	0	3.38	3.08	↑	0.31
	生徒指導	社会力に富む、精神的に自立した人間性と健やかな体の育成	①生徒理解を基本とした生徒指導を推進する。 ②教職員の協働により、生徒一人一人に規範意識をもたせ、自律的態度を身につけさせる。 ③学校行事や部活道を通して積極性や社会性の涵養に努める。	4 適時の声かけや教職員の共通理解や情報共有が図られたか	3	9	1	0	3.15	3.31	↓	0.15
				5 自己管理能力や規範意識の育成が図られたか	2	10	1	0	3.08	2.92	↑	0.15
				6 いじめについて、未然防止、早期発見・早期対応に向けた実態把握や相談・指導体制がとれたか	5	8	0	0	3.38	3.38		0.00
				7 学校行事、地域行事、ボランティア活動等への積極的な参加がなされたか	5	7	1	0	3.31	3.31		0.00
	進路指導	進路目標実現に向けた指導体制の充実とキャリア教育による社会的・職業的自立に向けた資質・能力の育成	①生徒のニーズに応じた進路指導を徹底し進路目標を実現する。 ②望ましい職業観・勤労観を身につけるため系統的なキャリア教育を推進する。	8 学年到達目標に沿った指導の実施がなされたか	5	8	0	0	3.38	3.31	↑	0.08
				9 ガイダンスと面談が充実されたか	7	6	0	0	3.54	3.46	↑	0.08
				10 個別指導(個別面接、進路講習、面接指導、作文指導等)の充実がなされたか	8	5	0	0	3.62	3.38	↑	0.23
				11 分掌・学年及び地域と連携した系統的計画的なキャリア教育が行われたか。	5	8	0	0	3.38	3.23	↑	0.15
	健康・安全指導	健康な心身と危機対応能力を育成する	関係機関と連携・協力し、健康・安全教育の充実を図る。	12 関連教科での指導や関係機関と連携した講演会が実施できたか	6	7	0	0	3.46	3.23	↑	0.23
				13 関連教科、特別活動等を通した性教育の充実がなされたか	5	8	0	0	3.38	3.31	↑	0.08
				14 各種講話や避難訓練等の効果的な活用がなされたか	5	8	0	0	3.38	3.23	↑	0.15
	特別支援教育	共生社会に向けた態度の育成を推進する	生徒支援委員会を中核とした指導・支援体制の充実を図る。	15 校内体制の確立と研修がなされたか	3	10	0	0	3.23	3.08	↑	0.15
				16 個別の支援計画及び指導計画が作成されたか	2	11	0	0	3.15	3.23	↓	0.08
				17 巡回相談等の活用と特別支援学校との連携がなされたか	6	7	0	0	3.46	3.46		0.00
学校運営	信頼される学校づくり	保護者・地域との連携・協働による教育活動の展開と地域社会との交流促進による地域貢献	①学校HPを中心とした学校情報を積極的に発信する。 ②地域の教育力を活用し、教育活動を円滑に推進するとともに学校の教育力を地域に還元する。 ③各学校段階間の連携・接続を推進する。	18 教育活動や取組を保護者や地域に分かりやすく発信されたか	8	5	0	0	3.62	3.69	↓	0.08
				19 コミュニティスクールなどによる地域と一体となった教育活動が推進されたか	7	6	0	0	3.54	3.23	↑	0.31
				20 小学校や中学校、大学との学びの連続性及び学校間連携を踏まえた取組が推進されたか	2	11	0	0	3.15	3.00	↑	0.15
	組織運営	組織体(チーム)としての協働体制に基づく、明るく活力のある学校づくりの推進	①対話を重視した職場づくりを推進し教職員間の信頼関係を深める。 ②ミドルリーダーを養成し学校経営参画意識を高揚する。 ③教職員の個別の状況把握と業務改善及び健康安全管理に努める。	21 報告、連絡、相談の徹底を通し、目標や課題意識が共有され解決・改善に向けた協働体制がとれたか	4	7	2	0	3.15	3.00	↑	0.15
				22 学校組織における自己の役割・責任を認識し校務の平準化が図れたか。	3	7	3	0	3.00	2.46	↑	0.54
				23 健康管理と時間外労働縮減の取組は十分になされたか	7	6	0	0	3.54	3.15	↑	0.38
				24 全教職員による危機管理意識を高められたか	4	8	1	0	3.23	3.31	↓	0.08

教職員の 資質向上	○授業力及び生徒指導力の向上 ○人として信頼される教師の育成 ○教育公務員としての自覚の深化	①教科指導力の向上を図るため研修機会の確保に努める。 ②面談や授業観察を活用し、適切な指導・助言を行う。 ③法令遵守を徹底し、服務規律に係る啓発・指導に努める。	25 授業力向上のための教材研究や授業評価の活用がなされたか	6	7	0	0	3.46	2.85	↑	0.62
			26 校内研修の充実、自己啓発や各種研修会への積極的参加がなされたか	8	5	0	0	3.62	3.00	↑	0.62
			27 サービス規律の徹底と規範意識の向上がなされたか	8	5	0	0	3.62	3.54	↑	0.08

評価2及び1の理由、改善案

【学習指導】

- 生徒の能力を正確に把握できていない部分があった。

【生徒指導】

- 多くの教員が全生徒に関わることになるので、学年間を超えた情報共有をしていく必要があるように感じる。
- 生徒が落ち着いてきているからこそ、TPOに応じた言葉遣いや身だしなみなどを全員で指導していければ。
- ボランティアについて、教員誰もが引率に当たるように割り振る必要がある。

【進路指導】

【特別支援教育】

【信頼される学校づくり】

【組織運営の評価】

- 生徒情報を少ない教職員であるからこそ朝の打ち合わせ等を使って様々な情報を共有したほうが良いのではないかな。
- 一定の教員に業務が偏っており、公務の平準化が進んでいないように感じる。
- 平準化について、平準化を計りにくい業務には個別のスキルやノウハウが必要な場合が多いと思う。誰もが「自分が担当になる」ことを想定して、他者の業務にも積極的に関わる必要がある。
- 職員間における業務の偏りを感じる。

【教職員の資質向上】

その他、学校をよりよくするための方策等

- 行事を増やすことによって、生徒たちに楽しい学校の雰囲気を作れないだろうか。
- 少数で学校運営を行っているのだからこそ、協力し合う意識が必要だと思う。